

令和 7 年 4 月

不正アクセスによる個人情報流出の可能性についてお詫びとお知らせ

東京ガスエンジニアリングソリューションズ株式会社（以下「TGES」といいます）では、国立市下水道課の下水道台帳システム整備に関する業務を受託しております。

今般、個人情報が保管されていた TGES のサーバーへ一時的に不正アクセス者からアクセスされたことが判明いたしました。

TGES では、個人情報保護法に基づき、個人情報保護委員会に報告するとともに、外部の専門機関による詳細な調査を実施したところ、個人情報の流出および閲覧された可能性を完全に否定できない結果となったことから、個人情報保護法第 26 条 2 項又は第 68 条 2 項の定めに基づき、対象の方々に下記のとおりお知らせをさせていただきます。

このたびは多大なるご迷惑、ご心配をおかけしておりますことを、深くお詫び申し上げます。

記

1. 事案の概要及び原因

TGES では、国立市による下水道管の情報を管理するマッピングシステムのデータ更新、運用業務を受託し、業務に関連する個人情報を社内サーバーに格納しておりましたが、一時的に不正アクセス者からアクセスされたことが判明いたしました。不正アクセスを覚知後、速やかに外部経路からの接続遮断を実施し、接続遮断後の不正アクセスは確認されておりません。

2. 本件の経緯

TGES においては、2024 年 6 月 25 日に社内サーバーにてセキュリティソフトがスパイウェアを検知し、駆除しました。このスパイウェアの駆除により、6 月 26 日に不正アクセスの痕跡があることを覚知し、速やかに外部経路からの接続を遮断しています。その後の調査の過程において、7 月 9 日に個人情報が流出した可能性があることを把握したことから、TGES において、個人情報保護委員会へ報告するとともに、ホームページに公表しております。その後、警視庁や独立行政法人情報処理推進機構（IPA）、第三者専門機関の協力も得ながら詳細調査を実施した結果、個人情報が流出した痕跡は確認

別紙2 通知文面案（続き）

されませんでした。また、不正利用等の二次被害に関する報告も受けておりません。しかしながら、第三者専門機関より「個人情報を実際に流出した可能性は低い」と報告を受けたものの、一時的に不正アクセス者から個人情報がアクセス可能な状態であったため流出の可能性を完全に否定できないことから、対象となる方に対してお詫びとお知らせのご連絡をさせていただいております。

3. 流出の可能性のある個人情報

住所、排水設備管理番号（氏名及び金融機関口座情報やクレジットカード情報等は含まれません。）

4. 二次被害又はそのおそれの有無及びその内容

個人情報が流出した痕跡は確認されず、また不正利用等の二次被害に関する報告も受けておりませんが、不審なご連絡等には十分にご注意くださいますようお願い申し上げます。

5. 今後の対応

厳重なセキュリティ体制の構築等による再発防止に取り組みます。

このような事態になったことを大変重く受け止めており、多大なるご迷惑、ご心配をおかけしておりますことを、重ねてお詫び申し上げます。

<お問い合わせ先>

不正アクセスの経緯や調査内容等、本件に関する事項についてのご不明な点は下記にお問い合わせください。

東京ガスエンジニアリングソリューションズ株式会社

電話：0120-996-167

受付時間：9:00～17:00（土日祝日を除く）

また、その他、下水道台帳システム整備等に関しては下記にお問い合わせください。

- 国立市都市整備部下水道課 電話：042-576-2111（内184, 186）
- 東京都都市づくり公社 電話：042-686-1612
- 東京都下水道サービス株式会社 電話：03-3241-1956